

平成 21 年

新 城 市 教 育 委 員 会

10 月 定 例 会 会 議 録

新 城 市 教 育 委 員 会

## 平成21年10月新城市教育委員会定例会会議録

**1 日 時** 10月23日（金） 午後1時30分から3時30分まで

**2 場 所** 市民体育館 第2会議室

### **3 出席委員**

馬場順一委員長 菅沼昌人委員長職務代理者 中根正介委員  
筏津順子委員 和田守功教育長

### **4 説明のため出席した職員**

今泉敏彦教育部長  
夏目道弘庶務課長  
小西祥二学校教育課長  
滝下一美生涯学習課長  
村田道博文化課長  
鈴木富士男スポーツ課長  
請井浩二スポーツ課参事

### **5 書 記**

松山立夫庶務課副課長

### **6 議事日程**

開 会

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 教 育 長 報 告

日程第3 協議・報告事項

- (1) 全国学力・学習状況調査の結果について（学校教育課）
- (2) 平成22年度教職員定期人事異動方針について（学校教育課）
- (3) 作手地区における中高連携について
- (4) その他

日程第4 そ の 他

## 委員長

平成21年10月の新城市定例教育委員会会議を始めさせていただきます。

日程第1 前回会議録の承認

## 委員長

日程第1 前回会議録の承認でございますが、ご異議がなければご承認・ご署名をお願いしたいと思います。（「異議なし」の声）異議なしと認めますので、ご署名をお願いします。

（会議録署名）

日程第2 教育長報告

## 委員長

それでは、日程第2 教育長報告をお願いします。

## 教育長

日一日と日が短くなってまいりました。キンモクセイの香りが街に漂い、秋の深まりを感じます。平成21年度も折り返し点を過ぎ、事務局といたしましても、後半の事業の一層の充実を期しているところであります。各小中学校におきましても、陸上大会・球技大会などの体育的諸行事も一段落し、「スポーツの秋」から「文化の秋」へと、授業の充実、図書館利用促進、文化活動などに力点を置き、落ち着いた学習環境のなかで、教育に取り組んでおります。

運動面では、3日の「中学校陸上大会」では、好天の下、選手たちも力いっぱい活躍し、男子は新城中学校、女子は千郷中学校が優勝、総合優勝は新城中学校でした。また、18日の「中学校駅伝大会」では、男女とも、千郷中学校が優勝しました。17日の「小学校陸上大会」では、あいにくの雨模様の天気ではありましたが、子供たちは、トラックにフィールドに記録をめざして頑張りました。リレーなどは、学校規模別に競争し、混合400mリレーでは、小規模校では鳳来東小学校、中規模校では海老小学校、大規模校では千郷小学校が優勝しました。この他、3日には新城・八名幼稚園の運動会、12日には「しんしろスポレク祭」が行われ、各地区においては、25日に「千郷地区住民歩こう会」「中部地区住民運動会」が開催されます。

一方、8日には、甲子園で活躍した中京大中京高校の「河合・金山両選手」が母校の中学校と教育委員会を訪ねて、優勝報告をしてくれました。レギュラー選手で最も遠い通学距離の2人に、早朝登校・深夜帰宅の3年間の忍耐力を讃えるとともに、日本一になって学んだことは何かと尋ねますと「感謝の心」とのこと、また、県大会で優勝したときはとの質問には、「僕たちのめざすは日本一でした」との返事。さすがの18歳です。さらに、9日には「北部体育振興会」の「総合型地域スポーツクラブ」の活動が模範的であるので「生涯スポーツ優良団体」として、東京で「文部科学大臣表彰」を受けました。

文化面では、1日の「市功労者表彰」とともに行われました「教育委員会表彰」においては、市教育文化への功績大なるをもって感謝の気持ちをこめまして6名の方の

表彰をさせていただきました。生涯学習専門委員を17年間務められた今泉幸子氏と伊東愛子氏、社会スポーツ指導の荒木晋二氏、ゲートボール振興の贅和佐男氏、鳳来寺自然科学博物館学術委員の林唯一氏。そして、日本自然写真展を13年間開催していただいた東京の紅葉会様であります。

また、同日、国際交流協会主催の「スイスのヨーデル公演会」が小ホールに満員の観客を集めて行われ、鳳来東小学校の5、6年生が、学校伝統のアルプホルン演奏を披露しました。4日の「つくでの森の音楽祭」お月見コンサートでは、合併以来見られなかった満月がこうこうと輝くなか、かがり火のもとで、田中旭泉さんの筑前琵琶を奏でての「長篠の露」、岡村立哉さんのモンゴルの馬頭琴とホームーの演奏を堪能しました。21日の小学生芸術鑑賞講座では、劇団「ひまわり」の「とんでろじいちゃん」が演じられ、面積500平方キロの広い市域から15台のバスに分乗して集まった小学校高学年1,000余人の心を動かしました。

16日の「市民文化講座運営委員会」では、本年度3回の実績、昨年度比10%増の通算2,350人の入場者数であったことと、予算削減のために事務局の手づくりポスター・チケット作成という努力が評価・検証がされました。20日の「生涯学習専門委員会」では、「親子せせらぎエリア」への取組の評価と、市民の生涯学習の拠点である図書館の利便性の向上について、多くの意見が出されました。

24日には、市内5中学校で文化祭が開催されます。25日の「新城へぼサミット」は、奥三河の食文化を象徴するものであります。25日作手高校文化祭、31日平井地区公民館まつりと、10月30日から11月1日にかけての「新城市民文化祭」に向けて、市内各地で文化の花が開きます。

10月の学校訪問では、10幼小中学校園の訪問がありましたが、教育委員さんにも参観していただいていますように、各小中学校とも、学校教育目標の実現に向けて、学区の三宝に光を当てて、落ち着いた雰囲気の中かで学校生活を過ごしています。今年、新学習指導要領への移行期でもあり、着実に教育課程を進めています。また、8日には、3年目となります東郷西小学校の英語研究発表会が開催され、先生方の元氣いっぱいの指導のもと、子供たちが楽しく英語学習に取り組んでいました。

次に、「新型インフルエンザ」の市内での感染動向ですが、油断できない状況となってきました。10月のこれまでの学級・学年閉鎖は、鳳来中、作手中、新城小、東陽小、鳳来東小の5小中学校であります。昨日22日の状況は、10小中学校で21人が感染し、新城小と作手中で学年閉鎖をしました。本日23日の状況は、10小中学校で29人が感染し、新城小で学年閉鎖をしています。近隣市町村の状況を見ましても、さらなる感染拡大が心配されるところであります。

昨日も新城小学校の学校訪問があったわけですが、全教職員全校児童がマスクをして終日生活し、給食もグループでなく全員前向きの机の配置で一人一人黙々と食べておりました。こうした光景は、現在、市内小中学校の多くで見られ、うがい、手洗い、洗顔、朝の検温を徹底して、感染予防に取り組んでいるところでもあります。また、こ

の秋、多くの小学校で修学旅行が計画されていますが、本日予定されておりました、千郷小、東郷西小、東陽小においては、無事、出発することができました。

また、10月7日から8日にかけて来襲した台風18号に関してですが、伊勢湾台風並ということで、新城市でも早々に災害対策本部を立ち上げ、新城中学校と鳳来中学校の体育館と作手開発センターを自主避難所として初めて開設しました。雨量はそれほどでもなかったわけですが、暴風による被害が甚大でした。教育委員会関係では、主なものは、建物被害として、協和小学校と連谷小学校の校舎屋根がめくられました。倒木被害は大変でして、新城中の桜・樺・檜、舟着小の樺、東郷西小の梅檀など、学校のシンボルツリーもやられ、国の天然記念物に指定されている甘泉寺のコウヤマキも大きな被害を蒙りました。学校関係につきましては、即刻、復興の措置をとり、平常の教育活動ができるように対処いたしました。

最後に、作手地区の中高連携教育についてですが、これまでも、作手地区の教育の未来については、教育委員会でも真剣に協議を重ねてまいりました。平成18年の「学校再配置研究会」。平成19年6月の「作手高校存続にかかわる要望書」の県教委への提出。選抜入試のグループ変更や作手高校の総合学科創設など「新城市内の高校再編整備にかかわる要望書」の県教委提出。平成20年9月の「愛知教育大学に新城東高校作手分校推薦枠の設定の要望書」の県教育長・愛知教育大学長に提出するなど、尽力し、関係機関のご理解を得てまいりました。

しかし、今後の作手地区の子供の人数を見ても、少子化が進むばかりで、小学校の再配置も含めまして、地域教育をどのように構築していくかについての展望は、喫緊の課題であります。そのような中で、人材育成、地域振興の観点からも、中高連携教育を模索し、教育委員会として、その後押しをしていくことは肝要なことと考えます。このことにつきまして、後ほど協議をお願いしたいと思います。

以上、教育長報告を終わります。

## **委員長**

ありがとうございました。ただ今の報告に対し、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

## **委員**

子供への新型インフルエンザワクチン接種のスケジュールはどうなっていますか。

## **部長**

医療従事者の接種が第一と聞いております。学校については、具体的な情報は入っていません。

## **委員**

医療従事者が第一で子供が次ということを知っていますが。

## **部長**

順位は、国全体ではそのようにいっていますが、新城市の具体的なスケジュールは、把握していない状況です。

## 委員長

10日土曜日、鳳来中学校に深夜侵入者とありますが、大事な文書を持ち出されたとか、金銭を盗られたとか被害はありませんでしたか。

## 学校教育課長

午前一時半頃の侵入ですが、侵入のためにガラスを割られたという破壊行為がありましたが盗まれたものはありませんでした。

## 委員長

犯人は不明ですか。

## 学校教育課長

その後、捕まったという情報は聞いていません。

## 委員長

鳳来中学校には防犯システムが設置されていますか。

## 学校教育課長

今回の場合は、理科室のガラスを割られ侵入されました。理科室には防犯システムは設置されていませんが、事務室、職員室に入った段階で防犯システムが作動しまして、それに驚いて犯人が逃亡したと思われれます。朝、職員が確認しましたが盗難等はありませんでした。

## 委員長

新型インフルエンザの感染で重症化した例はありませんか。

## 学校教育課長

現時点では、報告は聞いていません。

## 委員

全小中学校の防犯システムはどうなっていますか。

## 庶務課長

現段階では、6中学校のみの配備となっています。

## 委員

全校への配備計画はありますか。

## 庶務課長

予算要求はしていますが、なかなか通らないという状況です。今回のケースで有効性が再確認できましたので小学校まで広げていきたいと考えます。

日程第3 協議・報告事項(1) 全国学力・学習状況調査の結果について

## 委員長

日程第3 協議・報告事項(1) 全国学力・学習状況調査の結果について、説明をお願いします。

## 学校教育課長

(資料により説明)

## 教育長

新城市で分析した資料については、どのように活用するのですか。

#### **学校教育課長**

市の検討委員会の資料として活用しました。本日は教育委員さんにご覧いただくように付けさせていただきました。

#### **教育長**

教育委員さんの関心事として、例えば国1でいうと③で、市内3校の平均を比べてみると「単式校→大規模校→複式校」となったとあるわけですが、このあたりをどのように判断したらよいかとか、何か考えはありますか。

#### **学校教育課長**

このところは、さらに委員会で詳細に検討するところであり、ここから直ぐ、改善の方法とかの分析はしてありません。

#### **教育長**

これはどちらが良かったというデータですか。

#### **学校教育課長**

単式校のほうが良かったということです。

#### **教育長**

単式校が一番良くて次が大規模校、複式校の順ですか。

政権交代により全国学力・学習状況調査は見合わせる方向になりそうだということですが、本当は、学力調査の始まった3年前に6年生がこの調査をして、来年度中学3年生になるわけですので、もう一回やっていただくと、6年生から中学3年生になる過程でどのように変容したか分かりますし、その変容のしかたの度合いが大きければ、新城市の中学校の指導の状況がどうであるかということが、はっきり見えてくると考えますと、単に「国の調査」だけなら中止してもいいけれど、市としては「悉皆の調査」だからこそ「授業改善」に生かせるということもありますので、もう一年だけでも続けてほしいと思いますが、国の動向を見守るしかないという状況です。

#### **委員長**

「悉皆調査」が「抽出調査」に変わりそうですが、事務局はどのように考えますか。

#### **学校教育課長**

「悉皆調査」の意義もありますので、もう一年行ってみたいと考えますが、様子を見たいと思います。

#### **委員長**

問題等、コピーをとり新城市独自・学校独自で調べることはできますか。

#### **学校教育課長**

マスコミ情報では、問題は配布すると書いてありましたので、可能かと思いますが、現実にはどのように実施されるか分かりませんので、今の段階では、お答えのしようがありません。

#### **委員長**

3年前の資料等は、学校に残っているわけですね。

### **学校教育課長**

残っています。

### **委員**

小学校6年生の国語Aなどをみますと、秋田県と比べて5ポイント以上差があります。秋田県の教育が分かりませんので何ともいえないかもしれませんが、どのような分析をされたのか伺います。2点目として、細かい開示要求に対してどのように考えているのか伺います。

### **学校教育課長**

秋田県との差につきましては、秋田県が優位な部分と新城市が優位な部分がありました。秋田県につきましては、長く一位を保っています。県をあげての取り組みの仕組みもございますので、新城市がそのまま取り入れるということは、出来ないわけですが、少しでも劣っている部分については、先程の委員会や教務主任者会で提案させていただき、学力向上の努力はしていきたいと思えます。

開示要求に対しては、前任者の時も含めて市内から要求があったことはありませんので、原則に従って進めていきたいと考えています。

### **教育長**

一番大きいのは、ここで「目に見える」学力の点数差はありますが、それがどこから来ているのかを考えた時にやはり日頃の「学習態度」・「生活状況」等が大変影響しているわけです。具体的にいいますと、子供が「自分で計画を立てて、学習に取り組むか」どうかとか、或いは「学習塾にいつているか」どうかという調査結果については、秋田県では塾には行かずに学校で完結している。学校の授業中心に行っているというスタンスが県下一円に広まっているということを感じます。そのあたりが、新城市との大きな差です。また、自ら課題をもって読書をするとかという点についても、新城市の改善点、秋田との差としてはっきり見えているところであります。

### **委員**

今のところに関連して、新城市の場合は家庭学習の時間が少ないということですが、どの程度少ないのか伺います。

### **学校教育課長**

秋田県との比較で申しますと、中学校の場合には大きな差はあまりありません。むしろ数字でいいますと学習時間におきましては、新城市のほうが多いという状況もあります。小学校におきましては、30分未満といった少ない子供たちが新城市は多いとか、3時間以上という回答もあるわけですが、そちらでは新城市のほうが多いといった結果も出ています。家でやらないといった子供たちが新城市は多いという意味合いで学習時間が少ないという捉え方を分析させていただきました。

### **委員**

塾とかに関係していますか。推測ですが愛知県の方が塾が多いと思えます。やる



子供はやるのだけれども、やらない子供はほとんどやらない。秋田県では学校でやりますのであまり格差が生じない。平均して理解が深まるというような感じで、これは中学校、高校においては、やる子とやらない子の格差は非常に激しく、やる子は塾を中心に、名古屋あたりの進学率の高いところ、東海高校あたりでは、部活動はほとんどなく、学校が終わったら直ぐに塾へ行けということで、学校では補習もやらないということを知ったことがあります。

そのようなこともあり、愛知県の場合、都市部で非常に格差があるということだと思います。作手では塾もありませんし、学校である程度面倒をみてもらわないとということで、宿題等が少ないと先生にもう少し宿題を増やして勉強をするようにしてくださいという要求が学校のほうに結構あるようです。

作手地区では学校で何とかするといった雰囲気は自ずからできるわけです。新城地区では、その辺が中途半端で、塾も行こうとすれば行けるけれども、その気がなければ行かないということと関連があるのかと思います。

### **学校教育課長**

今のようなことが推察される数字が出ていまして、小学校に限って申し上げますと学習塾については、全国平均と新城市はほぼ同じでして、全国は52.4パーセント、新城市は53.5パーセントとなっており、同じとみてよいと思います。それに対して秋田が78.9パーセントとなっています。これは、塾に行っていない子供の割合です。

土日等まとまった時間に、1日どのくらい勉強しますかという問いに、1時間未満という子供が新城市では42パーセント、全国平均が35パーセント、秋田県は23パーセントとなっており、1時間未満というのは2割程度、新城市では倍いるという結果です。また、全国では6時間以上という子供が6.6パーセントいるのですが、新城市1.4パーセント、秋田県1.8パーセントとたくさん勉強している子供は全国平均より両方ともかなり低い数値となっています。コンスタントにまとまってやっている子供を増やしていくことが大事かと思います。あえて2極化というのではなく、やらない子供が多いということだと思います。

### **教育長**

補足しますと、基本的に「自ら計画を立て」て、「自ら課題を見つけて」やっていくというスタンス、塾等とは関係のないそういう部分が学力差に現れていると捉えていくことが大事です。学校教育において、子供の学力を伸ばすためには、学習意欲をいかに高めるかが大事で、現在、市内の学校においても学習課題のあり方等を検討しているところです。

今、一般的に学習塾にやれば学力は上がるという、考え方を持つことが多いわけですが、そうではないということ。それは、東大現役合格率で全国トップということで話題になる岡崎高校においても、生徒はほとんど学習塾に行っていないで学校の学習中心でやっているという報告もあります。学習塾に行かせさえすればそれでよい

のではなく、要は、本人の学習意欲とそれを支える学習環境であるという信念を持ってやっていくことが大切ではないかと思えます。

## 委員

まったく同感です。学力テストにおいて、点数のことは別にして、一般的な傾向として、保護者及び市民に学力テストの結果は、このように見受けられる。家庭での平日頃の勉強、或いは読書、或いは読んで考える問題等、新城市の子供の課題としてみられることを分析したのだから、何らかの形で教育現場に下ろすのは当然ですが一般的にも、とにかく塾に行かせさえすればそれでよいのだというような、他人任せの教育では色々な面、もちろん学力の点もありますが、情操教育、情緒の安定等からみても良いこととは思えません。

そういうことが見受けられるということについては、教育委員会が積極的に公表したほうが良いと思えます。あまり大雑把にまとめてしまうのは問題があるかもしれませんが。全員を対象として行うことについて、抽出で行えばよいという意見もありますが、全員を対象にして調査・分析をすることについては、決して無駄ではないし大切なことだと思います。そういう意味で学力テストはナンセンスだというものではないので、今のような点を考慮していただいて検討していただければよいと思えます。

## 委員

まったく同感です。学力テストの結果の中から大事なものが見えてくるとなりますと提示された資料をホームページに掲載するだけでは、これを見てもどう解釈するのか分かりません。一步踏み込んで、秋田の数値は県の数値ですから出してもよいと思えますが、開示できる数値は開示して一番大事なものは何かということ伺えるところを工夫し文章化して開示してもらうことが大事だと思います。

この分析を読んで、「平均か」ということで終わってしまうのであれば、多額の費用をかけた意味がないととられかねない。開示をするものの中身、開示方法を吟味して、この結果は新城市教育委員会としてはこう読むということを書いていただければと思います。

また、これからの進め方につきましてお伺いします。

## 学校教育課長

進め方につきまして、ひとまずお示しさせていただきました概要をベースにして、11月17日に各校の教務主任を集めまして、今出てきたような具体的なことを含めて資料を提供することと、各委員がいますので、モデルとなる指導の改善ポイント、読書についてはこのような方法でうまくいっている学校があるのでこのようにしてくださいとか、家庭学習が課題になっているわけですが数を増やせばよいというものではありません。意欲の問題もあります。意欲を持って家庭学習に取り組むという方策をいくつか学校に提示していますので、それを精査して17日に、一個の方法ではなく学校規模もありますので、いくつか提示し、その中から必ずひとつは新たに加えておこなってくださいという提案をするように検討しています。

それを踏まえて、年明けに3回目をおこないますので、そのところでもう一度更に出てくるのか、もう一段踏み込んでいくのかということを検討してまいりたいと思います。

### **教育長**

過去3年間の結果をみれば新城の特徴的なことは判明します。それは、家庭の問題であり、学校の問題であり、そこに改善の方策は見出せるのではないかと思います。

ただ、そういったグラフを掲示することについてはセンセーショナル過ぎると思います。学校にはもちろん提示するわけですが、ホームページ上に掲示すべきかということにつきましては、微妙なところです。

### **委員**

細かく開示することは、問題点は残るかもしれません。秋田県と新城市はどう違うかということと比較することはひとつの方法かもしれませんが、問題は秋田県とか大阪とか東京とか関係なしに、今出されている質問に対して新城市の子供たちが、他の都道府県の子供たちと比較して、どのような思考が出来ていないのか、比較して秋田県に追いつき追い越せというようなことになっていくと、おかしな話になってしまいます。要するに秋田の勉強、家庭での学習、そういったもの、学習環境、家庭学習のあり方を父兄が感じてくれるようなものがほしいと思います。

### **委員**

秋田県の数値はどうでもよいのです。一番大事なのは学習の取り組み方、その姿勢だけは学ぶべきだと思います。他はどうだというよりも「われわれ自身の問題」として捉えて発表したほうが良いと思います。

### **教育長**

学校教育課長が申しましたように、そういう面でしっかりと学校教育課程の推進役である教務主任者会議等で、現実を認識してもらおうと同時に、結果にとらわれるのではなく、学習態度、意欲という部分でいかに改善すべきか、この学力テストの学習状況調査によって得られたデータを生かしていくということだと思います。

### **委員長**

都道府県の格差、結果の分析は文部科学省からでていますか。

### **学校教育課長**

新聞情報としては出ていると思いますが、文部科学省からというのは聞いていません。

### **委員長**

個性尊重とか、ゆとりとか、うまい言葉に秋田県は踊らされなかったのではないかと思います。それだけの違いではないかと思います。ゆとりがゆるみになったし、たるみになったと思います。今学力重視に舵をきっているのだけれど、現場レベルでの考え方をきちっとしなければいけないと思います。

### **委員**

考え方をきちっとするとき、委員長の考え方のような方向なら反対です。要するにゆとり教育とかをやっていたので学力が下がったので、それを止めてもっと勉強をさせればよいという考えですよね。それで学力だけでなく人間形成、人間を育てるという意味において、それでよいのかというと非常に問題です。簡単には言い切れないと思います。

そのようなことをやっていたので学力が下がった、やらないで勉強を中心でやってきた県は伸びているけれど、ゆとり教育を取り入れてやっているところは下がったということで、ゆとり教育はだめだというような結論は簡単には出せないと思いますし、そこまで踏み込むのはとても難しいと思います。まず、学力テストの結果は先程の段階でまとめておけばよいと思います。

### **委員**

先生の今の教え方が生徒にどう理解されているかという逆の面から見たものを反省点にすることのほうが、国際比較するというようなことよりも大事だと思います。

ゆとりとかの議論の前に、こういう結果について、一方で教え方等、どの程度まで入り込んで理解をしてもらっているかということ、認識するためにも、この調査はある程度意味があると思ったほうが良いと考えます。

### **委員**

子供自体が学力テストをやることによって学力が伸びるのではなく、こういうことをとおして、教師が何を反省してどういう点を評価して、教師の今後の指導のあり方を模索するのかという、教師にとっての資料だと思います。

### **委員長**

この結果は、教師の指導そのものだと思います。ただ、一生懸命頑張らせよう、覚えさせようとする国、県、市の教育委員会から来た講師が、「それで子供の自主性が育つのか」とすぐ言う。そのような指導の考え方基本そのものを早くすっきりさせないと日本は立ち遅れると思います。「個性」だとか「ゆとり」だとかの言葉にいつまでも振り回されてはいけないと思います。

### **委員**

個人的な見解は結構ですが、あくまでこの結果についてどうするかということにしないと、日本の教育のあり方、教師のあり方については、別のときに討論することにしなくて、この会議は収拾がつかなくなります。学力検査の結果をどう真摯に受け止め、反省すべき点は反省する、評価すべき点は評価して現場に下ろす。全体として家庭・地域がどのような方向で進んでいったらよいのか、合点がいく学力検査であったということで抑えておいたほうがいいのではないかと思います。

### **教育長**

今、話題にしてきていることは、学習状況調査のことを中心にして、学力調査の新城の結果は小学校6年生、中学校3年生にしても全国平均より高い項目が非常にたくさんあって結果はよかったということですが、さらに改善すべきは、先程、委員さん

がおっしゃったように、「しっかり考える」「よく考える」「さらに追究する」という面で、単に「早く計算できればよい」だとか「漢字が書ければよい」ではなく、「より考えることの楽しさ」、「問題追究の面白さ」そういうことを味合わわせるような「学習課題」とか「取り組み」をさせていくような教育のあり方の部分で考えていきたいと学校教育課も捉えていますので、そういう方向でのご助力をいただければと思います。

#### **委員**

今までの議論の結果を受け止めて、開示していただければと思います。

協議・報告事項（２）平成２２年度教職員定期人事異動方針について

#### **委員長**

協議・報告事項（２）平成２２年度教職員定期人事異動方針について説明をお願いします。

#### **学校教育課長**

来年度春に向けての、定期人事異動の動きが始まる時期になりましたので、資料のとおりの方針で行くことに対しご承認をいただきたいと思います。

#### **委員**

今までと変わったところがありますか。

#### **学校教育課長**

大きな変更はありません。

#### **委員長**

学力検査の結果により、人員配置について考慮しなければいけないというような事態はありましたか。

#### **学校教育課長**

先程の資料を見ていただきますと、小規模等の調査をさせていただきましたが、顕著な差はございませんでしたので人事的な問題はないと考えています。

#### **委員長**

教育は人なりということですので、皆が希望を持って一生懸命がんばれるような人事異動でありたいと思います。毎年この方針につきましては検討してきたところではありますが大きな変更は無いということですがどうでしょうか。

（異論無し）

このような形で進めていただくということでよろしくをお願いします。

協議・報告事項（３）作手地区における中高連携について

#### **委員長**

協議・報告事項（３）作手地区における中高連携について説明をお願いします。

#### **教育長**

先程教育長報告でも申し上げましたように、作手地区の実情、人材育成とか地域振興等を考えてみたときに、「地域の教育はどうあるべきか」という観点から中高連携を図っていくことは効果的なことではないかということで、中学校、高校それぞれの

校長先生から中高連携を推進していくよう後押しをしてくれないかとのことです。これは新城市教育委員会、愛知県教育委員会の教育長宛のものです。それぞれの管理監督責任のある教育長のもとへの要望でございますけれど、県立高校と市立中学校ということで監督権の違う双方が連携するということは、双方の承認・後押しが必要ですので、市教育委員会だけでなく、県の教育委員会にも更なる後押しをお願いすべく校長からの要望書に対して、市の教育委員会としての意見書を添付して県の教育委員会に要望して参りたいと思いますので、これについてのご意見を伺いたいと思います。

## **委員**

作手中学校の公開授業等に作手高校の教員が訪問するとか、意見交換等交流を行っているようですが、市立であれ、県立であれ子供は一緒ですので、寛容に考えていただき、出来ればゆくゆく小学校も1校になるだろうと多くの人は予想していますが、保育園もひとつになったので保育園から高校まで一貫ということを作手地区の地域のあり方として発展させようと校長先生たちの段階では話をしてはいますが、まずとりあえずこういう形で、これがひとつのモデルとして、新城市の教育委員会が、教育長さんの言われたように積極的に県に要望し、具体的に支援できることがあれば支援し、作手地域という一地域だけの考えでなしに、日本の過疎地域における教育のあり方を考えるケースとしても、積極的に関与していくという教育長さんの意見に全面的に賛成です。

## **委員長**

要望書については、新城市教育委員会は真摯に受け止めるということで異議ありませんか。異議なしという方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

全員挙手ということで出来るだけの応援が出来たらと思います。

## **教育長**

副申を添えて、予算のこともございますので、早急に提出するという事で事務局にお任せいただいでよろしいでしょうか。

## **委員長**

よろしくをお願いします。

協議・報告事項(4)その他

## **委員長**

協議・報告事項(4)その他。何かありますか。

## **部長**

教育長報告でも触れておりますけれど、台風18号の被害状況と今後の事業等は各課長からご説明いたしますが、私から市長市議選挙が直近に迫ってまいりましたので、スケジュール的なことを報告させていただきます。

(スケジュール等説明。)

なお、選挙が終わりますと市長が新たに、市議のほうも定数が30だったものが1

8名にということで、2期目の新城市が始まり、臨時議会が開催されますが、その臨時議会に今年で任期の切れる2名の教育委員さんの同意議決というものを上程してまいります。

### **庶務課長**

台風18号の学校関連の被害状況の概要でございますが、今回の台風は風が強く、風による被害が各学校大なり小なり発生しております。既に修繕に向け至急手配し、すべて発注をしております。

被害額ですが全小中学校で、1,400万円余となっております。中でも特に被害額が大きかったのが、協和小学校、連谷小学校の校舎への被害。校舎以外の設備の被害として、千郷中学校の運動場の防球ネット等があります。1,400万円余と申し上げましたが、これは応急処置の経費でございます。今後、特に、協和小学校におきましては、雨漏り対策のスチール製の屋根が強風により飛んでしまいましたので、応急処置をいたしました。完全なものにするために費用が要るわけですが、この費用については12月の補正予算に計上してまいります。

応急手当につきましては、早いものでは11月8日には完了予定です。これらには、校庭内の倒木の処理であります。施設の関係ですと長いもので11月の終わり頃までかかるものもありますが、来月中にはあらあら完了する予定でございます。協和小学校だけしっかりするものにするために年明けまでかかるという状況です。

これ以外にも学校によっては、先生方が倒木等を除去してとりあえず授業に支障のない状況にするとか、中には地域の方にご協力いただいたところもございました。

### **委員長**

子供の家庭で大きな被害があったところはありましたか。

### **学校教育課長**

瓦が飛んだ程度で、人的・物的に大きな被害は聞いておりません。

### **生涯学習課長**

台風の被害状況については、平井公民館と富沢公民館で強風により瓦、網戸が飛んだという被害がありました。玖老勢のコミュニティプラザにおきましても瓦が飛んだという報告が入っております。金額的には50万円余となっております。

### **文化課長**

台風の被害状況については、文化財関係で鳳来寺山東照宮が倒木により5、6箇所打撃を受け、修理費の見積もりを徴収中です。大きな被害ではなく庇部分が破損したものです。また、自動消火設備の監視システムの線も切れてしまいました。国のほうへも報告を行っております。甘泉寺のコウヤマキについては、愛知県の文化財保護審議会の樹木医の林先生という方がおみえになりますので、その方のご指導のもとケアをしていきますが、まだ具体的に方針等は決まっておりません。巢山の阿弥陀如来座像の収蔵庫、平井の八幡神社、鳥原の日吉神社の大楠を支えている木等に被害があり12月補正により対応を考えています。その他、作手民族資料館の瓦がいざったという報

告がありました。また、設楽原歴史資料館、長篠城址史跡保存館では倒木の被害がありましたけれど、既に撤去は完了しています。

事業関係ですが、お手元に配布させていただきましたパンフレット「新城歌舞伎」と「時代横町」については、事業は違いますが、両面刷りにさせていただきました。これは、経費の節約と、より多くの方に周知するように、今年度から試みました。

### **スポーツ課長**

台風の被害状況については、市民体育館屋根のアスファルトシングルが風で200枚程飛ばされました。まだ修理はしていません。他の部分の経年劣化もありますので、全面葺き替えの見積もりを徴収中であります。他にガラス1枚破損。ふれあいパーク鳳来の管理棟の屋根の一部がはがれたということと鬼久保ふれあい広場の体育館のガラスが1枚破損したということです。

事業関係ですが、お手元に配布させていただきました「平成21年度監督・コーチ・選手名簿」につきましては、12月5日に愛地球博会場で行われる愛知県市町村対抗駅伝競走大会の新城市の名簿でございます。選手選考につきましては、リレーカーニバル、小学生の記録大会、小、中学校の陸上競技大会、中学校の駅伝大会等の記録を参考にいたしまして、選手選考委員会において決めさせていただきました。

小、中学校以外につきましては、いままでの実績と新城マラソン大会等の記録を参考にしています。

ちなみに昨年度は13位、一昨年は10位でございましたので、今年目標としては一昨年並みの順位を残せたらと思っています。なお、小、中学校につきましては、選手補欠の欄が空白になっていますが、最終的には11月28日におこないます現地での試走会で決定してまいりたいと思っています。なお、11月28日の現地下見の後に壮行会を市民体育館第一会議室において開催いたします。

9月26日、27日に「新城ラリー2009」を開催いたしました。今年で6回目になります。ラリー車70台、観戦者数約2万人の参加があり、去年以上の経済効果があったと考えています。

11月の予定でございますが、「新城RunFes09」が11月3日に総合公園でおこなわれます。これはDOS事業の新規事業として行うものでありまして市民の方がスポーツ活動に接する機会が少しでも増えればと企画しました。

年を越しまして1月7日に新城マラソンがあります。10月30日から11月30日まで参加者の募集をいたします。昨年度初めて2千人を超えましたので、今年も多くの市民が参加してくれたらと思います。また11月22日に作手の「歴史の小径」という散策道を利用いたしましてラリーウォークを計画しています。これにつきましても10月20日から11月15日まで参加者の募集をいたします。

### **学校教育課長**

台風に関連して、進路を考えて当初は、6時30分頃、学校に関する警報が出るのではないかと予測しましたが、その後、速度が遅く出ないのではないかとということにな



りましたが、台風が大きいということもあり、前日に、全幼・小・中学校を閉鎖にしました。予想外に速度が早く登校時間時には警報は解除されましたが、当市においては臨時休業と決めていましたので、児童・生徒の登校はありませんでした。結果的には倒木等の片付けを職員等ができましたし、そういう場に子供たちがやってくることもなく今回、事前に決めたことはよかったと思いました。

次に、教育委員会の広報のサイトということで運用を考えています。市のホームページのほうに教育委員会のページがございまして、今年の方針であるとか計画等が載っているわけですが、なかなか機動的にいかない。今もそうですがインフルエンザがここまで蔓延してくるとは思っていませんでした。休校休園等があった時は該当の学校は保護者にお知らせするのですが、市民の皆さんがなかなか分からないということもあり、また、不審者情報なども学校には流すわけですが、掲載については各学校の判断に委ねていました。こうした情報、もうひとつはいろいろな事業を報告させていただいているわけですが、そうしたものの予告や結果もここでお知らせできるので、サイトを開設したいと思いました。仕組みは市内の小中学校が使っている仕組みを利用するというを考えています。

ご意見がなければ来週あたりから動かしてまいりたいと思います。現在も携帯電話のQRコード或いはアドレスを見ていただければ、今試験運用しているものを見ることが出来ます。もう一点インフルエンザの詳細な資料を作らさせていただきましたので、このような形で、学校間では現在の発生状況を捉まえるようになっていきます。閉鎖をしますと患者数が一挙に減少するのは、閉鎖した学級の数が載らないためです。

### **委員長**

各課からいろいろなお話がありましたが、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。

### **委員**

スポーツ課のほうから11月22日に「歴史の小径」ラリーウォークという話がありましたが、何時からとか具体的なことが分かりますか。この日は新嘗祭という祭礼と地区のラリーウォーキング大会を予定していますので。また、費用はいくらですか。

### **スポーツ課長**

受付が9時から9時30分まで、体力コース10km、健康コース4kmで、午前中には終わる予定です。費用は大人500円、小中学生300円、未就学児無料となっています。

### **委員長**

学校教育課長から話のありました広報サイトについては、こういう形で進めさせていただくということよろしいですか。

### **委員**

今、教育委員会のページは新城市のホームページの中にありますね。市の中にあつてこれはどこにつながるのですか。

## 学校教育課長

これは、新城市の小中学校の運営しているサーバーが市役所にありますがそちらにつながります。

## 委員

市の教育委員会のホームページとつなぐというのは難しいのですか。今までの教育委員会会議録等と2本立てになるということですね。

## 学校教育課長

リンクはさせようと思っはいますが、同じ仕組みの中では機動性が出ないので、別の仕組みを使わせていただこうと考えました。

## 委員

市民は分かりやすいですか。インフルエンザとか学校の動きについてはこのページを開くのがよいわけですね。

## 学校教育課長

各学校のページから教育委員会のページに入ってくださいことになります。

## 委員

新城市のホームページからここへ飛びますね。

## 学校教育課長

そのようにする予定です。当面試験運用ということで拙いところがあれば直していくということで、2本立てでいくということはこちらも整理をしていかないといけませんので。

## 委員

教育委員会のスケジュール等掲載していただければと思いますが。

## 学校教育課長

行事予定の欄がありますので、対応可能だと思います。

日程第4 その他

## 委員長

日程第4 その他何かありますか。

教員免許の更新について、事務局はどのように考えていますか。

## 学校教育課長

法案が通れば、それに合わせて対応します。本年度は終わっています。

## 委員長

次回の教育委員会議は、11月27日金曜日午後3時から市民体育館第二会議室で開催とします。

以上で、10月の定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

委員 長

委 員

委 員

委 員

教 育 長

書 記